

松山での日本地方財政学会(2)

学会2日目の午前の「地方財政と地域経済」という分科会で、「公共事業見直しと地域経済・地方財政」というテーマで報告した。学会報告は数年ぶりであり、やはり何回やっても緊張するものだ。今回は初めてパワーポイントを使って報告した。昨年12月から講義で「経験」を積んできたので、「パワー」をもって報告できた。コメントは高崎経済大学の加藤一郎さんが行い、公共事業研究への示唆と「刺激」を得た。加藤さんには20年ほど前、財政学会で最初に報告したときにもコメントしてもらった。

せっかく松山に来たので、市電に乗って道後温泉に行ってみた。「道後温泉本館」は100年以上も前に建てられた風格がある建物であり、館内には「神の湯」と「霊の湯」の浴室があり、観光客などで賑わっている。ひと風呂浴びたかったが、報告で疲れたこともあり、建物や周辺の写真だけ撮って岐路についた。



前から本四架橋の一つ「しまなみ街道」を通ってみたかったので、福山行き的高速バスに乗った。今治までは一般道であったが、それから高速道となり、立派な橋と島を貫く道路を駆け抜けていった。瀬戸内海の綺麗な景色、架橋と島の風景を写真に撮ろうと必死であった。

巨大公共事業と地域社会を考えさせられる松山からの岐路であった。



(2007年5月29日 記)